

# 広島県における高齢者のがん

広島県がん登録室 小田 崇志

広島県がん登録室 2025年6月27日

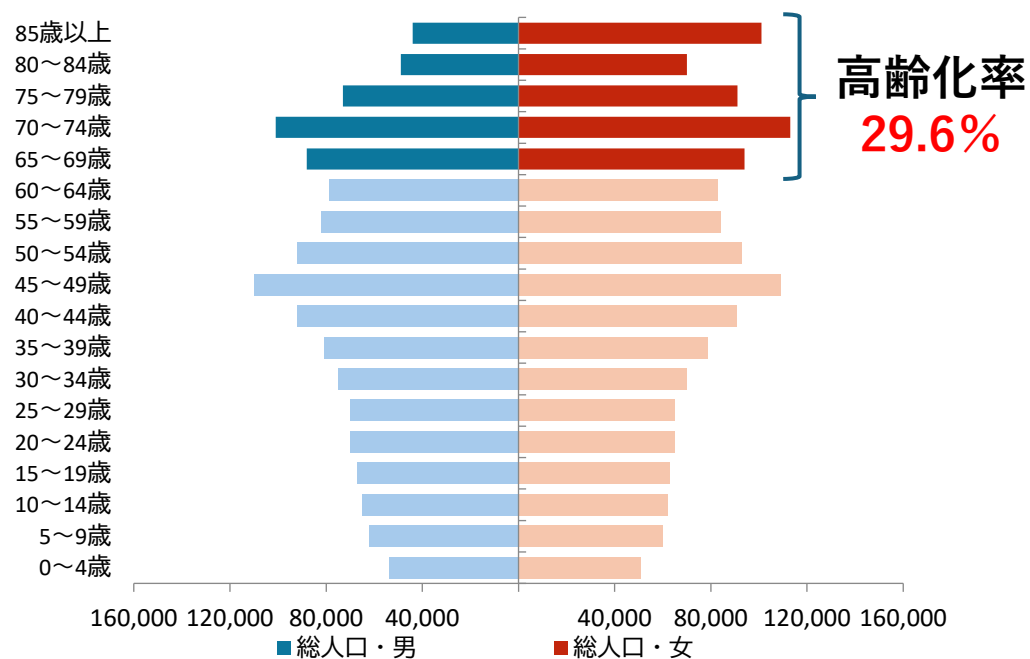
# この発表について

- このスライドの内容は、日本がん登録協議会第34回学術集会において、広島県がん登録室がポスター発表した内容をスライドに編集したものです。
- 本研究は、がん登録推進法第18条に基づき情報の提供を受け、広島県がん登録室において独自に作成・加工した資料です。
- 開示すべきCOIはありません。

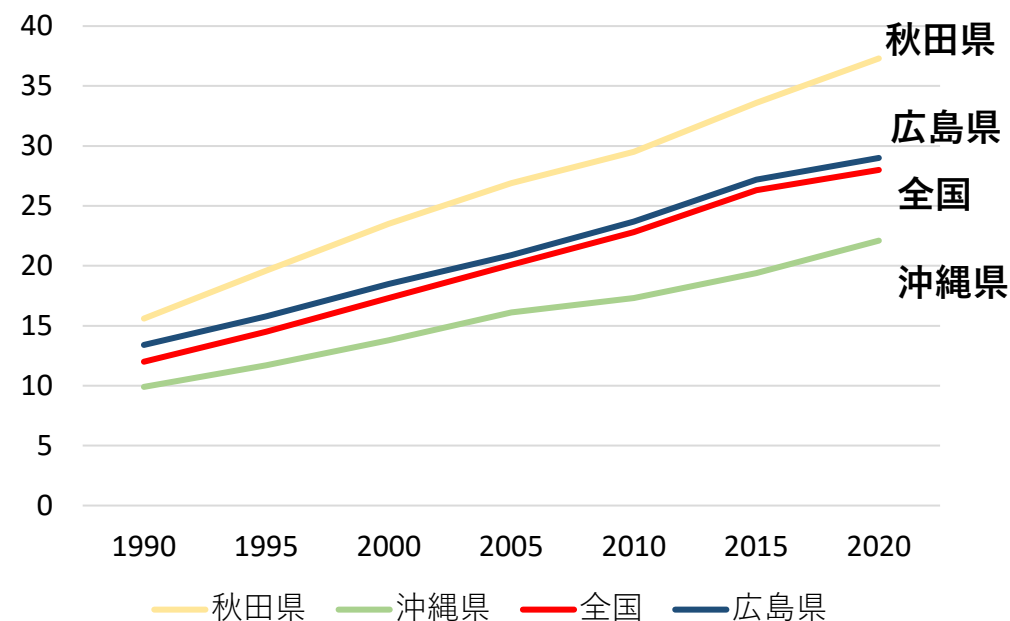
# 背景

- 第4期がん対策推進基本計画では、**75歳未満のがん年齢調整死亡率減少**を目指しているが、人口の高齢化を考慮し**高齢者のがん対策**が重要課題となっている。広島県の高齢化率は29.6%で高齢化率の推移は全国とほぼ同じである。広島県における75歳以上のがん患者の特性と受療動態について検討する。

## 広島県2020年人口



## 高齢化率の推移



# 方法

## 1.集計対象

- がん罹患

全国がん登録広島県がん情報を用いて、2016年-2020年に診断された患者のうち、死亡診断書のみで登録された患者（DCO：N=1,600、1.2%）を除く129,920人

- 人口

- 1990-2020年の国勢調査人口
- 2016-2019年の住民基本台帳人口移動報告人口

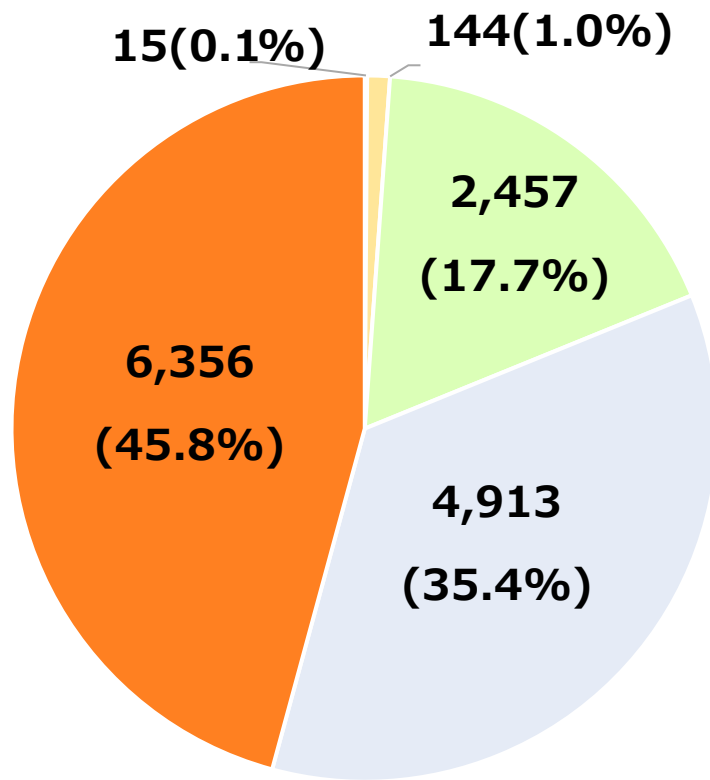
## 2.集計方法

- 世代・男女別、罹患数および割合  
世代・男女別、罹患数および割合の推移
- 75歳未満・75歳以上・部位・男女別、がん罹患数
- 世代・部位・進展度別、観血的治療の受療数(5部位)
- 世代・部位・発見経緯別、罹患数(5部位)
- 市区町村別、75歳以上罹患数割合

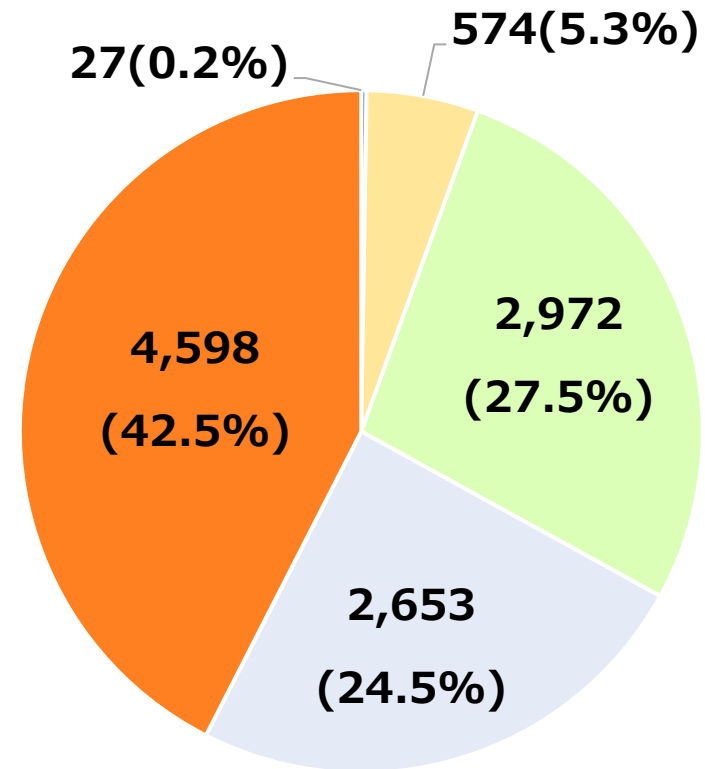
# 2020年診断の高齢者のがん患者数の割合（上皮内がん含む）

2020年に診断された広島県のがん患者(24,709人)のうち、75歳以上のがん患者は、男性**45.8%**、女性**42.5%**

男性



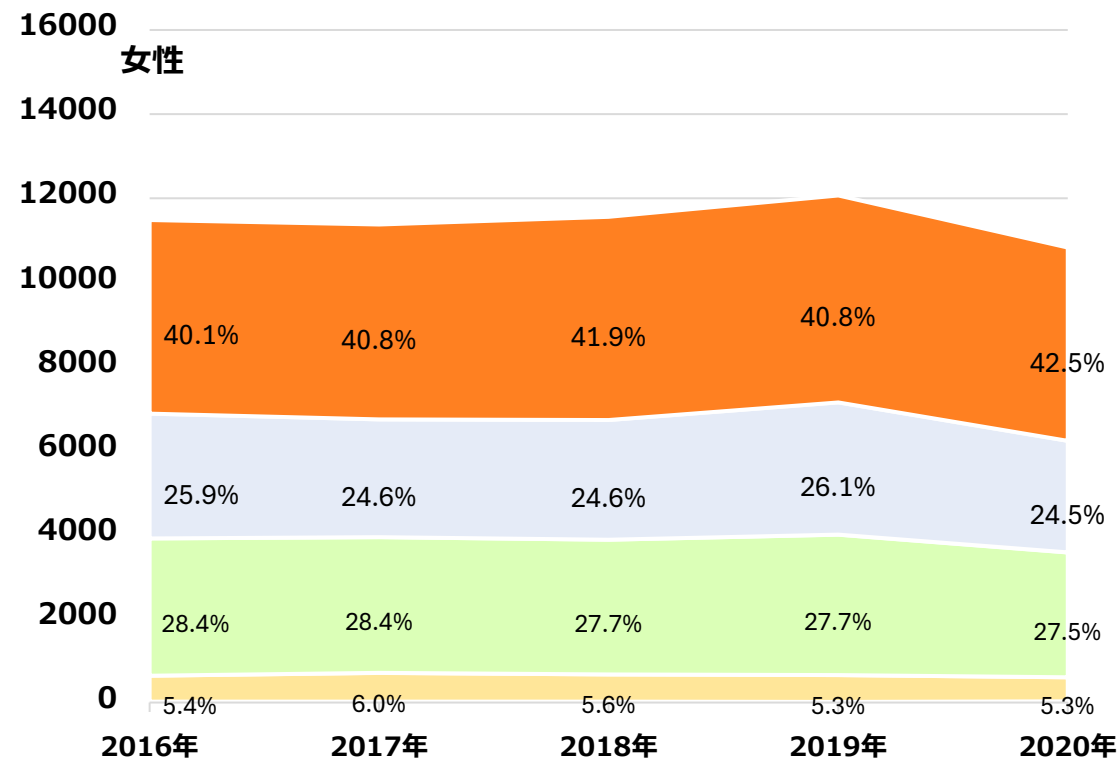
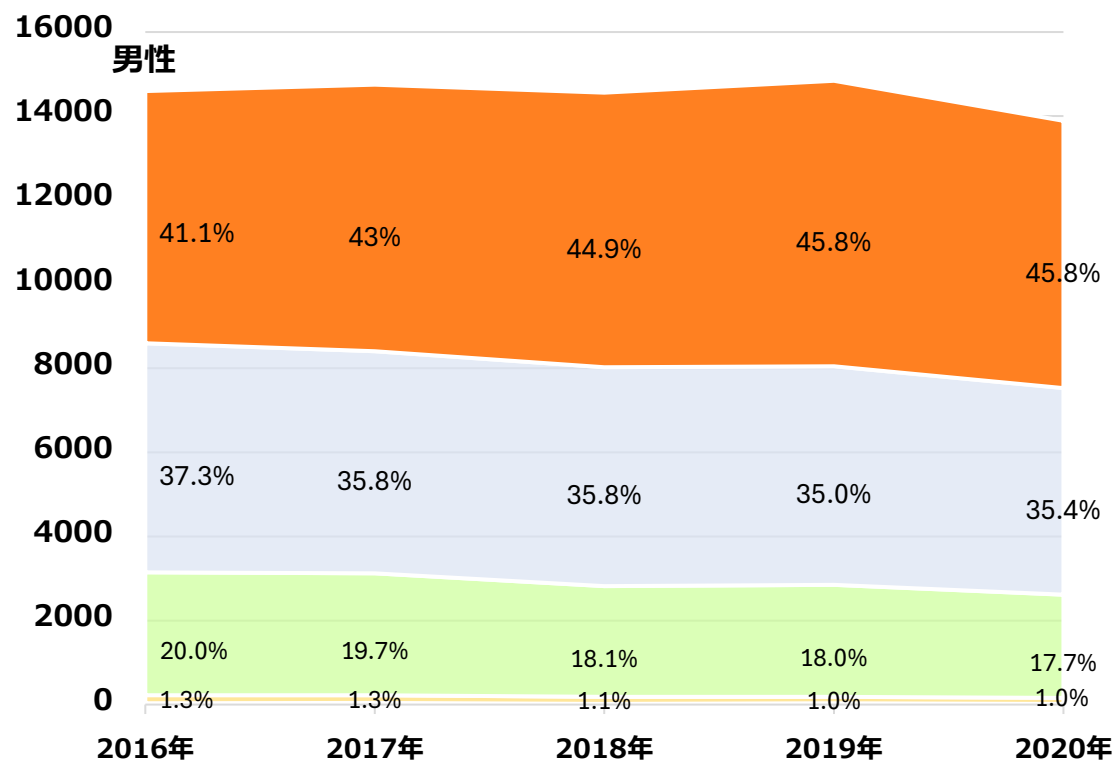
女性



■ 0-14 歳 ■ 15-39 歳 ■ 40-64 歳 ■ 65-74 歳 ■ 75歳+

# 世代別がん患者数・割合の推移（2016-2020年）

2016年から2020年の推移では、75歳未満のがん患者数は減少しているが、75歳以上では男性6,001人（41.1%）→6,356人（45.8%）、女性4,603人（40.1%）→4,598人（42.5%）と増加若しくは横ばい状態であった



0-14 歳 15-39 歳 40-64 歳 65-74 歳 75 歳+

# 部位別がん罹患数の比較：75歳未満-75歳以上(2020年)

男性は75歳以上で前立腺がん、膀胱がんの割合が増加

女性は75歳以上で乳房、子宮頸部の割合は減少、結腸、胃などが増加

- ・ 75歳未満より順位が上の部位は色付き
- ・ 罹患数が多い部位に ↑

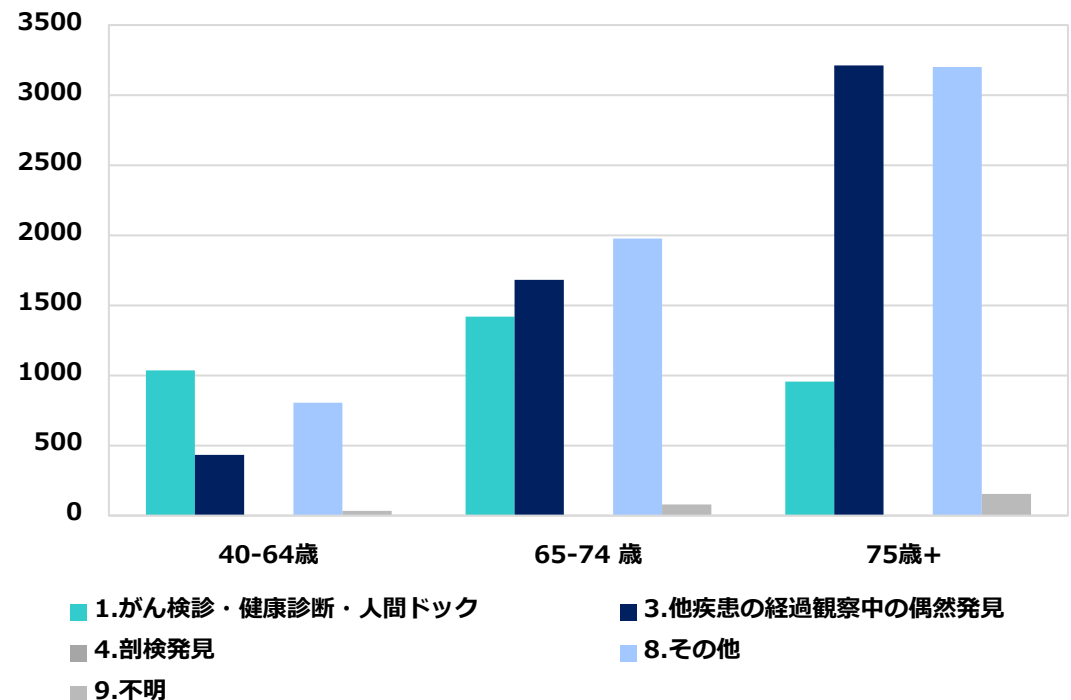
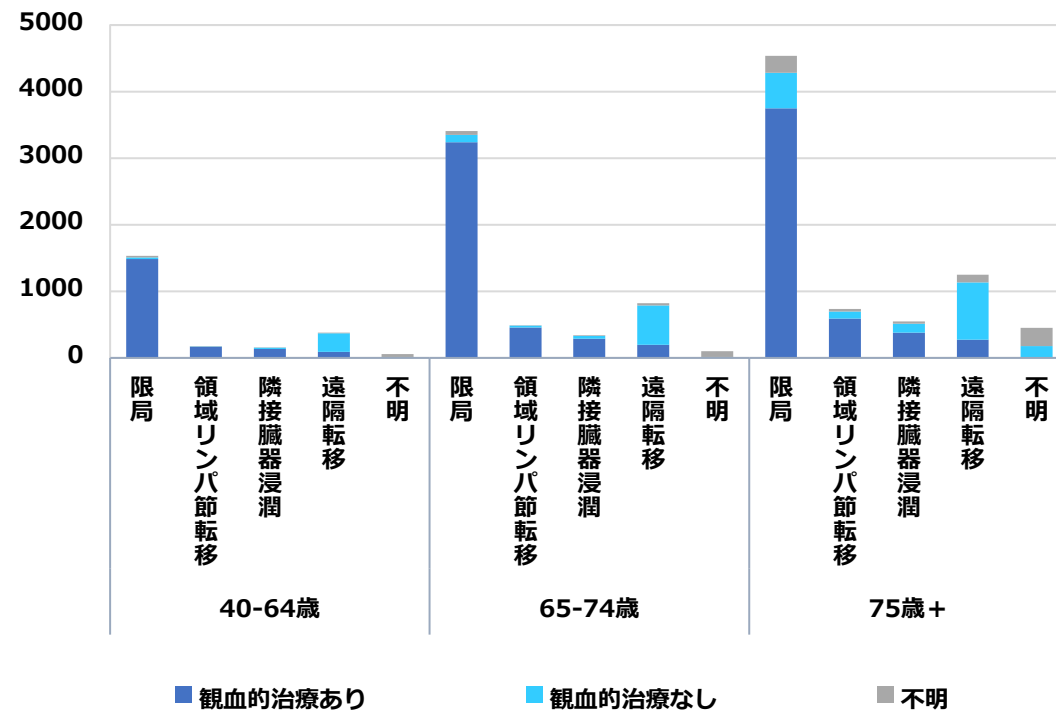
| 男性 | 75歳未満          |       |       | 75歳以上         |       |       |   |
|----|----------------|-------|-------|---------------|-------|-------|---|
| 順位 | 部位             | 罹患数   | %     | 部位            | 罹患数   | %     |   |
| 1  | 結腸             | 1,004 | 13.3% | 前立腺           | 1,074 | 16.9% | ↑ |
| 2  | 肺              | 995   | 13.2% | 肺             | 952   | 15.0% |   |
| 3  | 前立腺            | 967   | 12.8% | 胃             | 849   | 13.4% | ↑ |
| 4  | 胃              | 890   | 11.8% | 結腸            | 633   | 10.0% |   |
| 5  | 直腸             | 612   | 8.1%  | 膀胱            | 488   | 7.7%  | ↑ |
| 6  | 膀胱             | 414   | 5.5%  | 肝および<br>肝内胆管  | 376   | 5.9%  |   |
| 7  | 肝および<br>肝内胆管   | 341   | 4.5%  | 直腸            | 252   | 4.0%  | ↑ |
| 8  | 食道             | 329   | 4.4%  | 脾臓            | 244   | 3.8%  |   |
| 9  | 腎・尿路<br>(膀胱除く) | 285   | 3.8%  | 悪性<br>リンパ腫    | 228   | 3.6%  | ↑ |
| 10 | 悪性<br>リンパ腫     | 271   | 3.6%  | 皮膚            | 221   | 3.5%  |   |
|    | その他            | 1,421 | 18.9% | その他           | 1,039 | 16.3% |   |
|    | 75歳未満<br>罹患数計  | 7,529 | 100%  | 75歳以上<br>罹患数計 | 6,356 | 100%  |   |

| 女性 | 75歳未満         |       |       | 75歳以上         |       |       |   |
|----|---------------|-------|-------|---------------|-------|-------|---|
| 順位 | 部位            | 罹患数   | %     | 部位            | 罹患数   | %     |   |
| 1  | 乳房            | 1,712 | 27.5% | 結腸            | 722   | 15.7% | ↑ |
| 2  | 子宮頸部          | 745   | 12.0% | 胃             | 539   | 11.7% | ↑ |
| 3  | 結腸            | 577   | 9.3%  | 肺             | 520   | 11.3% | ↑ |
| 4  | 肺             | 449   | 7.2%  | 乳房            | 519   | 11.3% |   |
| 5  | 子宮体部          | 324   | 5.2%  | 脾臓            | 321   | 7.0%  | ↑ |
| 6  | 胃             | 323   | 5.2%  | 皮膚            | 239   | 5.2%  | ↑ |
| 7  | 直腸            | 292   | 4.7%  | 直腸            | 231   | 5.0%  |   |
| 8  | 甲状腺           | 273   | 4.4%  | 肝および<br>肝内胆管  | 217   | 4.7%  | ↑ |
| 9  | 悪性<br>リンパ腫    | 230   | 3.7%  | 悪性<br>リンパ腫    | 192   | 4.2%  |   |
| 10 | 卵巣            | 193   | 3.1%  | 胆のう・<br>胆管    | 150   | 3.3%  | ↑ |
|    | その他           | 1,108 | 17.8% | その他           | 948   | 20.6% |   |
|    | 75歳未満<br>罹患数計 | 6,226 | 100%  | 75歳以上<br>罹患数計 | 4,598 | 100%  |   |

# 部位別・進展度別・世代別の観血的治療の有無、世代別発見経緯 (2016-2020年)

- 75歳以上の患者も、進展度に応じて75歳未満の患者と同様の治療を受けており、観血的治療の施行数は75歳以上が最も多い
- 世代が上がるにつれ、他疾患の経過観察中、自覚症状含む「その他」で診断される患者が増加し、がん検診・健康診断・人間ドックでの発見は75歳以上で減少した

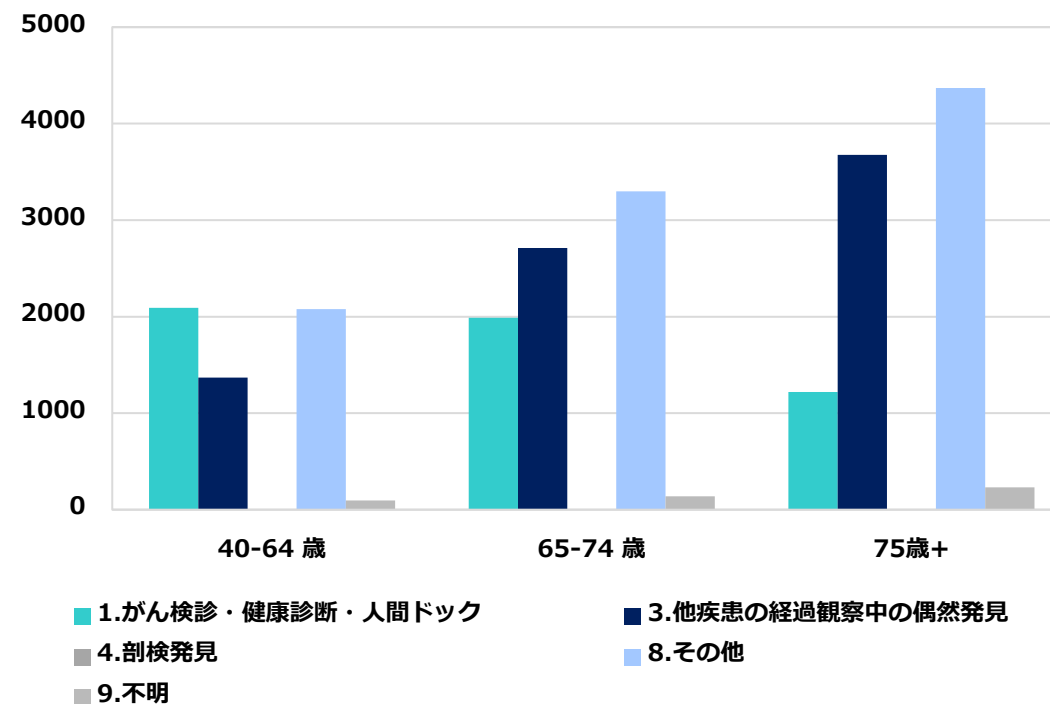
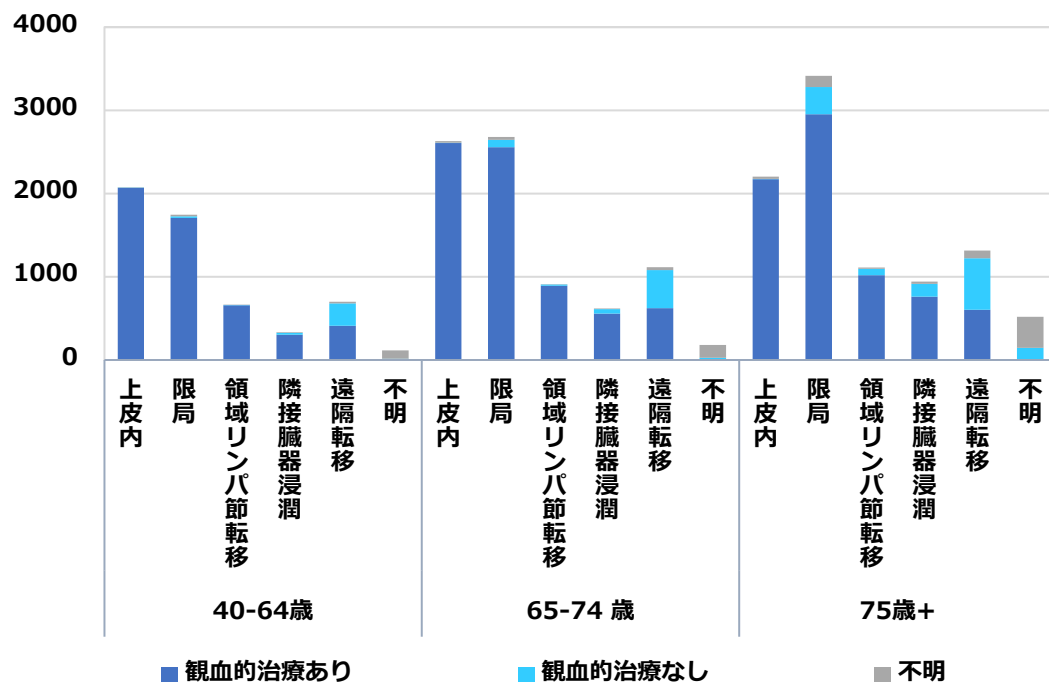
胃 C16



# 部位別・進展度別・世代別の観血的治療の有無、世代別発見経緯 (2016-2020年)

- 75歳以上の患者も、進展度に応じて75歳未満の患者と同様の治療を受けている
- 世代が上がるにつれ、他疾患の経過観察中、自覚症状含む「その他」で診断される患者が増加し、がん検診・健康診断・人間ドックでの発見は75歳以上で減少した

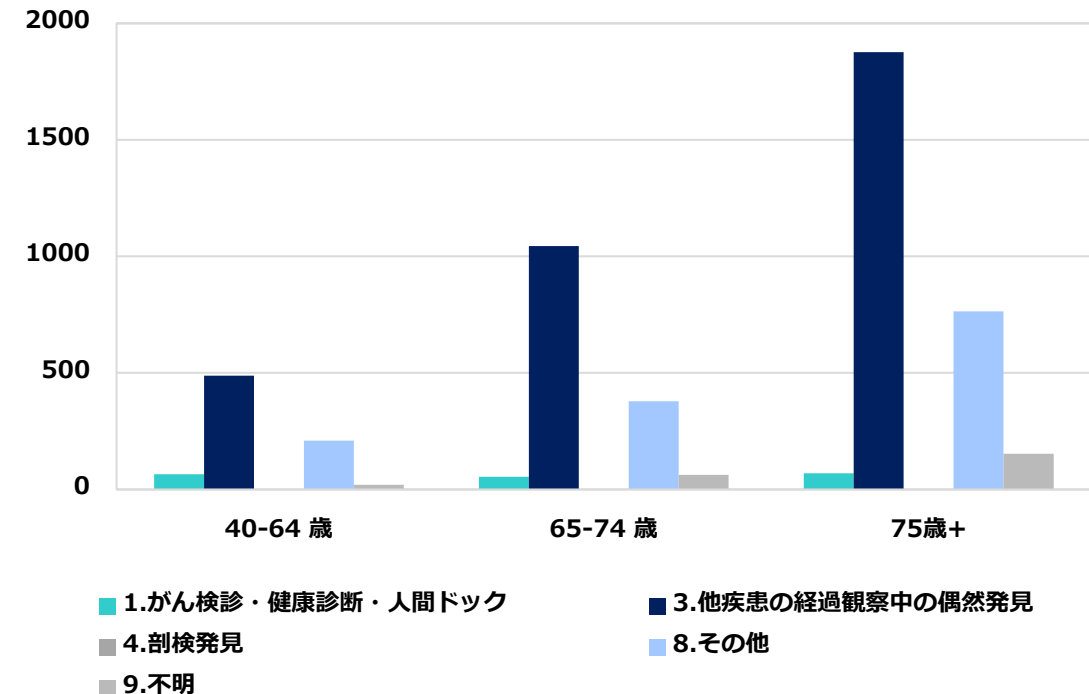
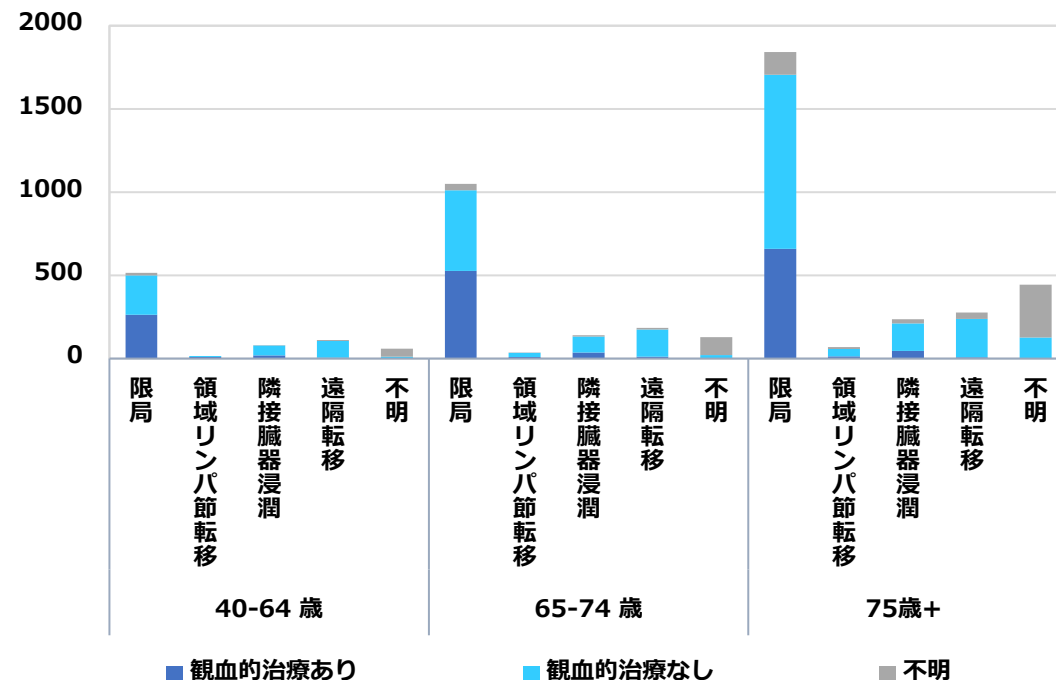
大腸(結腸・直腸) (C18-C20 D010-D012)



# 部位別・進展度別・世代別の観血的治療の有無、世代別発見経緯 (2016-2020年)

- 75歳以上の患者は、他世代に比べ進展度が限局での観血的治療の施行割合は低い
- どの世代においても、がん検診・健康診断・人間ドックでの発見は少なく、他疾患の経過観察中で診断される患者が多い

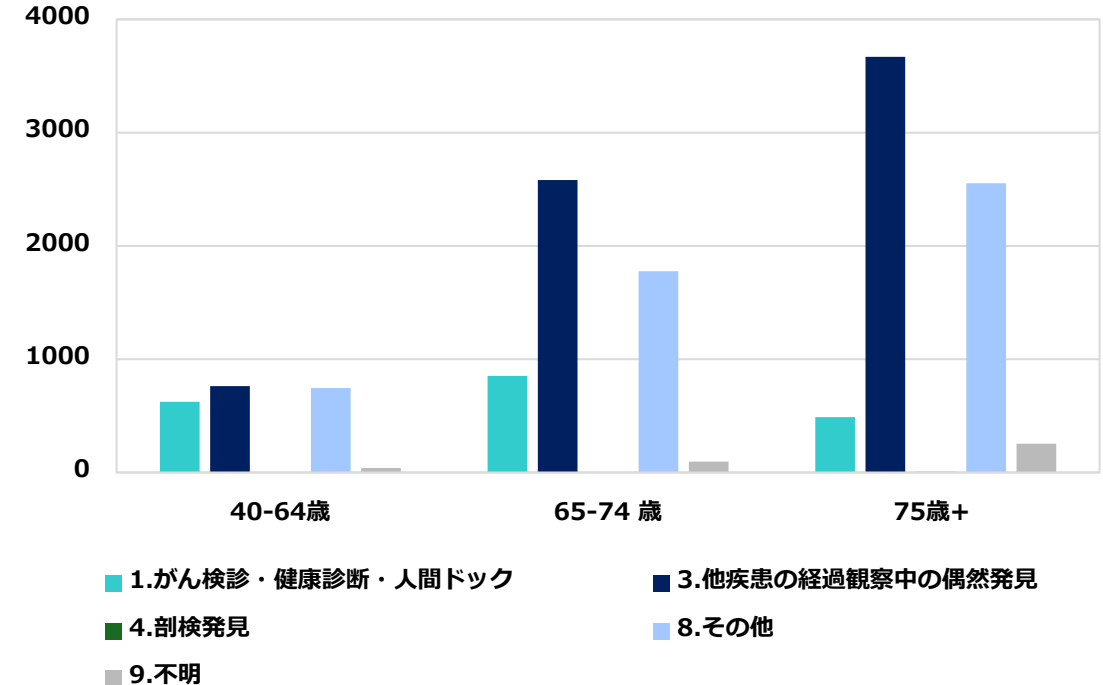
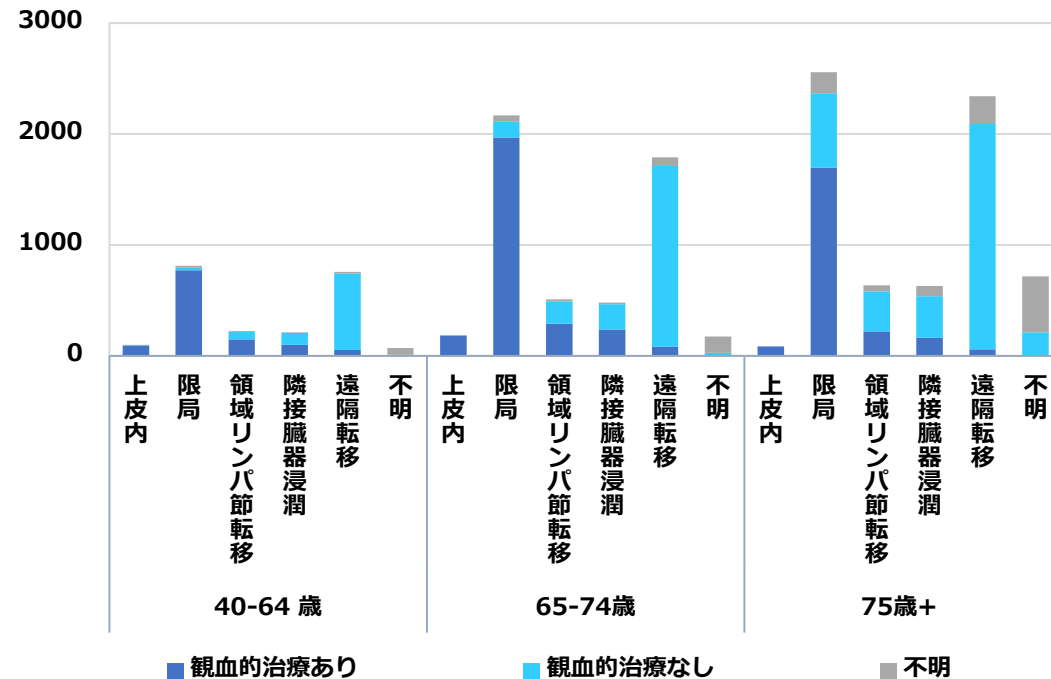
肝および肝内胆管（C22）



# 部位別・進展度別・世代別の観血的治療の有無、世代別発見経緯 (2016-2020年)

- 75歳以上の患者は、他世代に比べ進展度が限局での観血的治療の施行割合は低い
- 世代が上がるにつれ、他疾患の経過観察中、自覚症状含む「その他」で診断される患者が増加し、がん検診・健康診断・人間ドックでの発見は75歳以上で減少した

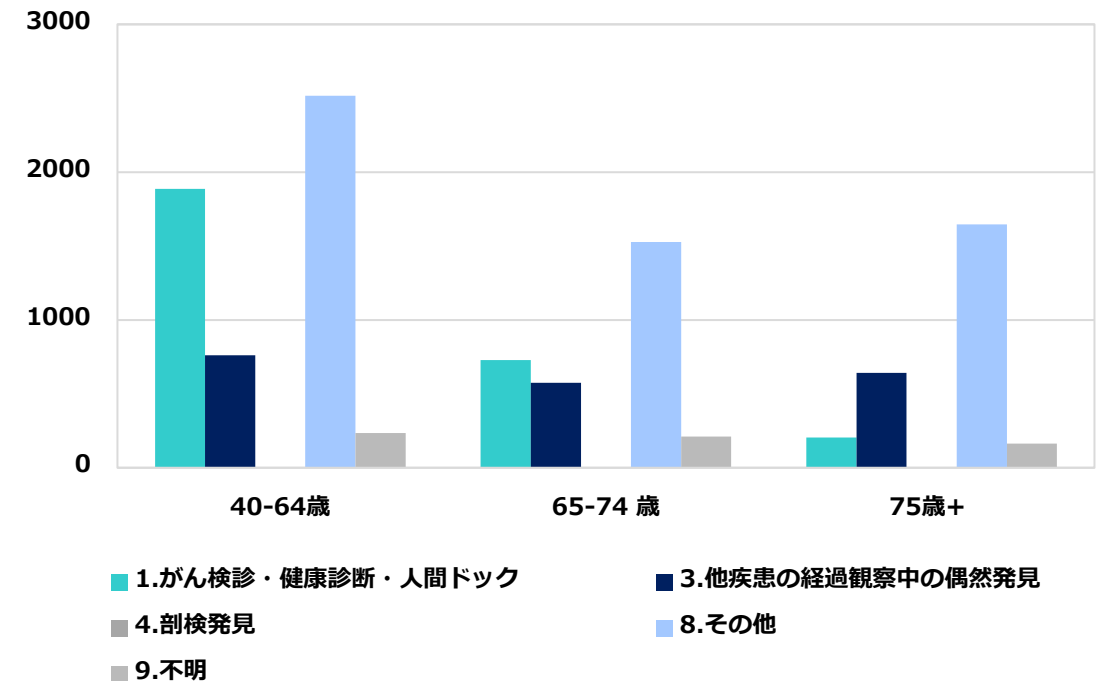
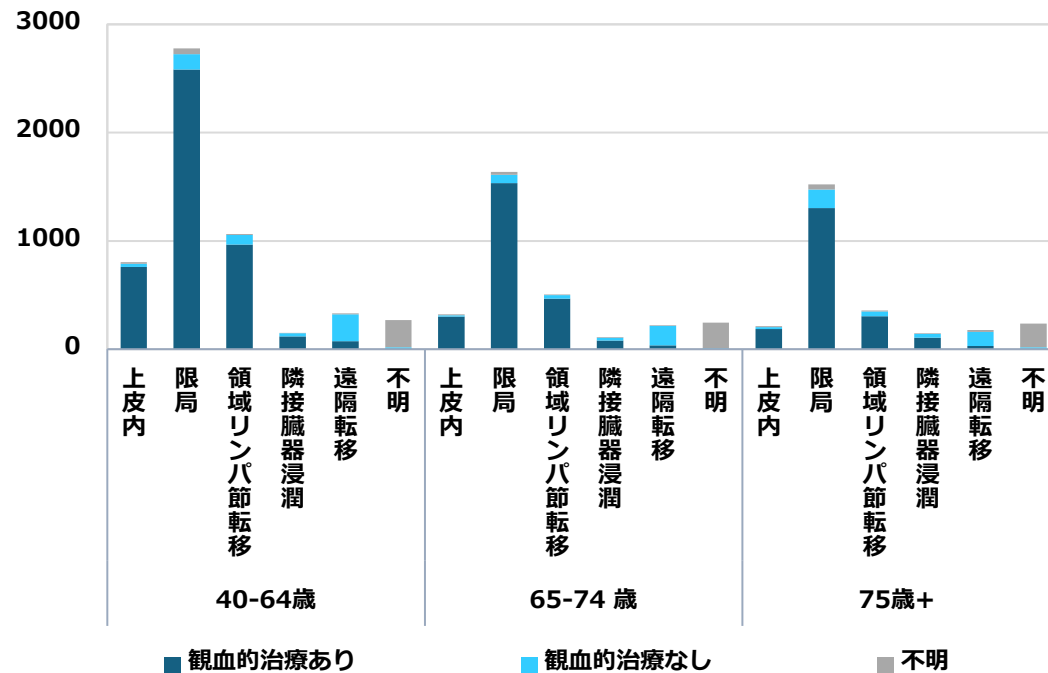
肺 (C33-C34 D021-D022)



# 部位別・進展度別・世代別の観血的治療の有無、世代別発見経緯 (2016-2020年)

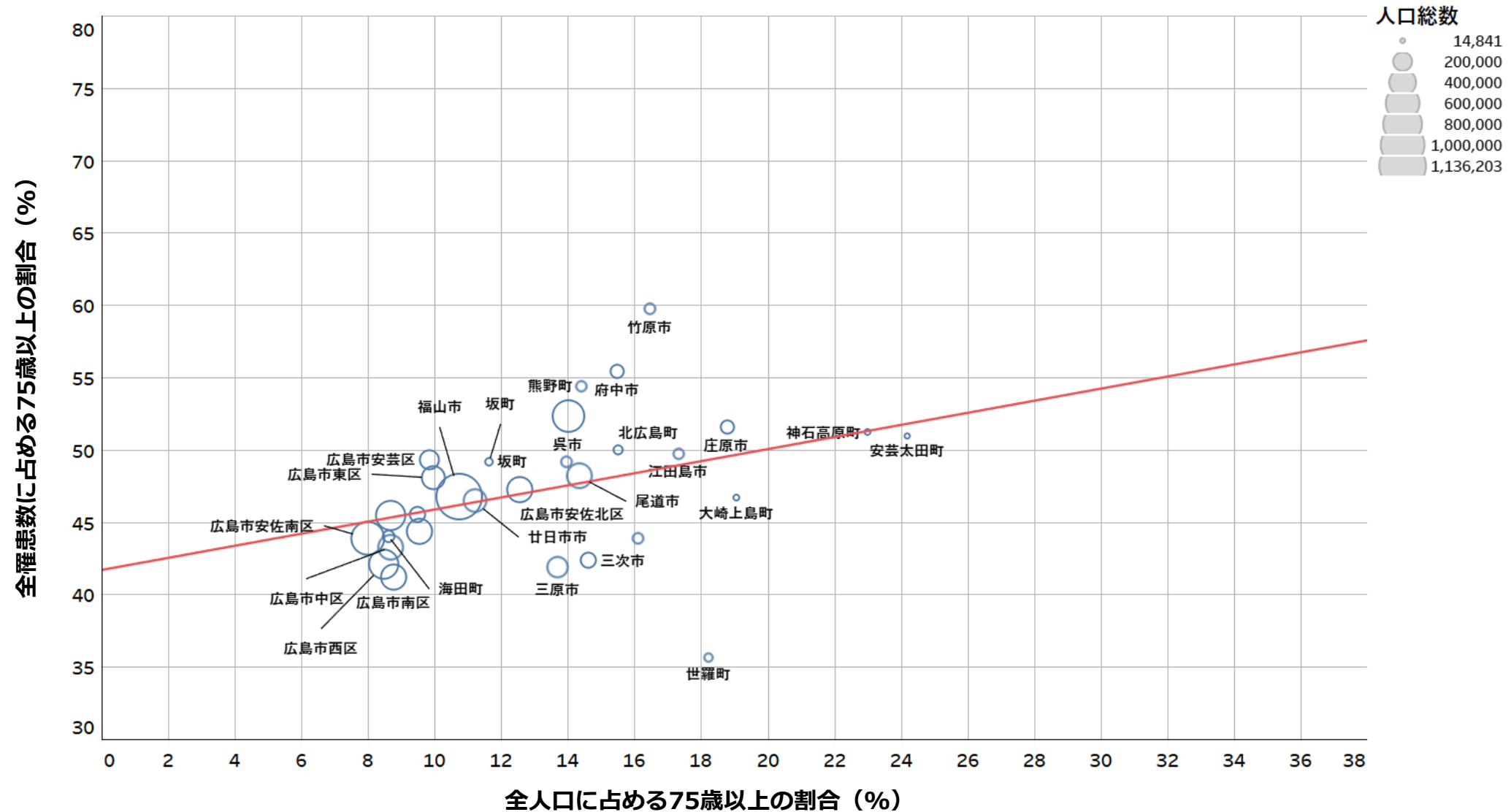
- 75歳以上の患者も、進展度に応じて75歳未満の患者と同様の治療を受けている
- 世代が上がるにつれ、がん検診・健康診断・人間ドックでの発見割合は減少して診断される患者が増加し、がん検診・健康診断・人間ドックでの発見は75歳以上で減少した

## 乳房 女 (C50 D05)



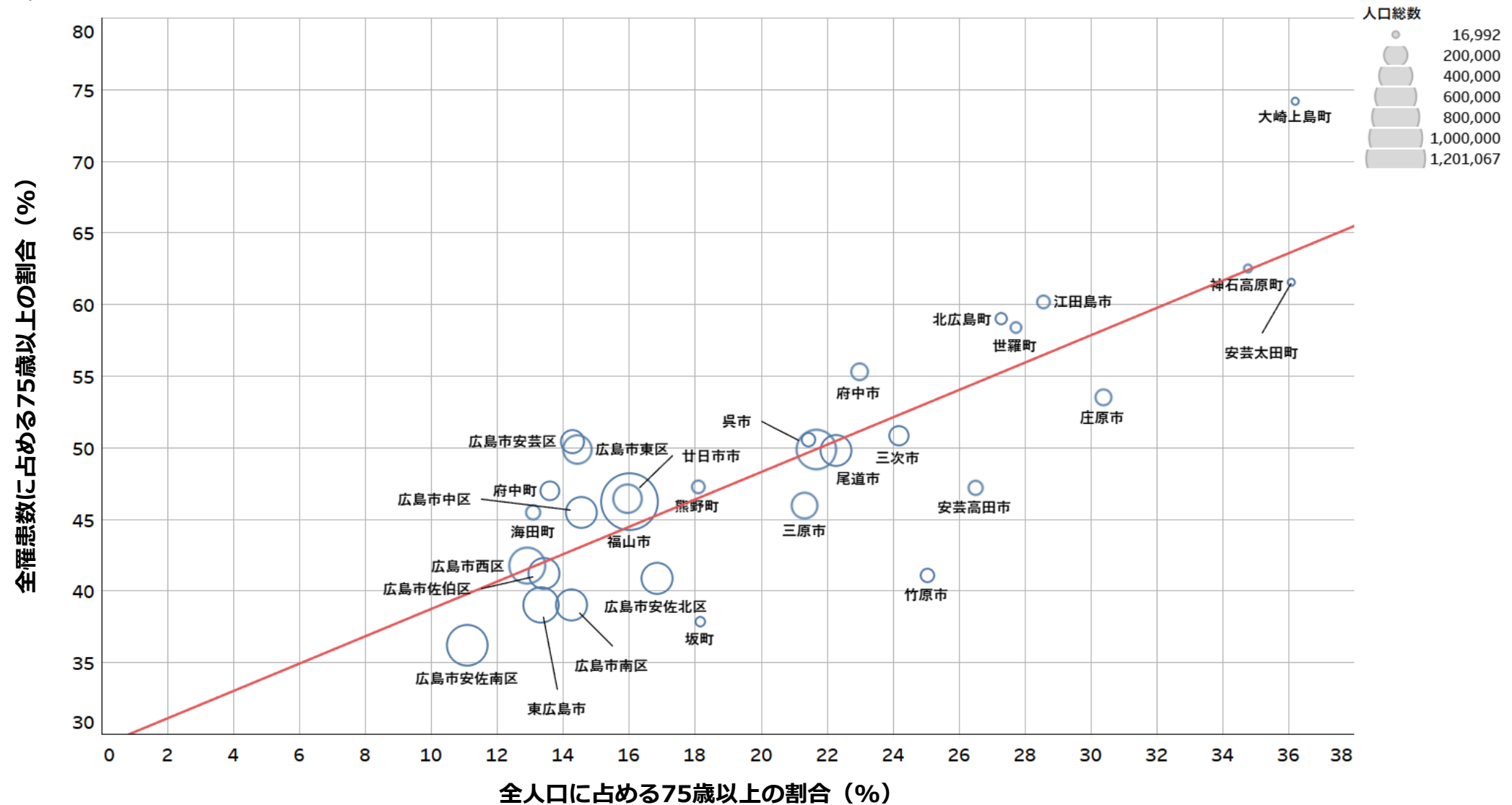
# 市町別75歳以上のがん罹患数割合(2016-2020年)

男性



# 市町別75歳以上のがん罹患数割合(2016-2020年)

女性



# まとめ

- 広島県では、男女ともがん患者全体の40%以上が75歳以上の高齢者である
- 75歳以上のがん患者も75歳未満のがん患者と同様、観血的治療など積極的な治療を受けていたが、肝、肺では若干低くなっている
- 世代によりがんの発見経緯割合大きく異なるが診断時の進展度に大きな差は見られなかった
- がん患者の75歳以上の高齢化割合の傾向は、地域、性別により異なる

高齢のがん患者には、**診断・治療の意思決定**や**共存疾患のフォローアップ**が重要であり、特に高齢患者が多い地域では、地域医療機関との連携が必要である

ご清聴ありがとうございました